

各種行事の統廃合を進めた実践(小学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
土庄町立 北浦小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の遠足と新入生を迎える会を合体して、縦割り班でのなかよしウォークとして実施した。(ウォークラリー、クイズ、綱引き等児童会を中心に内容を決めた)</li> <li>・1学期の終業式の日に「紙飛行機大会」、2学期の終業式の日に「音楽会」を実施する。これは、授業時間の確保と児童活動の活性化と図るために終業式の日に実施するものである。</li> <li>・避難訓練等の行事は、短縮校時の活用により通常校時との差からうみだした時間で実施することで、授業時間を削らないようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施するのにあたり、多くの教員がかかわれたので内容の工夫や充実が図れた。</li> <li>・忙しい時期であるので、準備等あまりいらぬことと考える必要がある。</li> <li>・30分程度しか、時間がうみだせないで、その時間内で実施できるよう工夫しなければならない。</li> </ul>
高松市立 四番丁小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末、教職員・保護者・学校評議員等を対象に学校評価を実施した。その結果を踏まえ、改善し継続するもの、廃止するもの、新たに実施するもの等検討し見直しした。</li> <li>・改善し継続するもの             <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全自転車教室 交通安全母の会・生活指導部主催に親子体験活動・授業参観 一日公開に運動会 地区体協と共催に</li> </ul> </li> <li>・廃止するもの             <ul style="list-style-type: none"> <li>PTA主催球技大会、夏休み作品展・書初展、学級紹介</li> </ul> </li> <li>・新たに実施するもの             <ul style="list-style-type: none"> <li>読書タイム、授業参観一日公開、地域ふれあい事業</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日を有効に使い、学校だけでなく地域や保護者の協力を得て実施するようにした。学校の様子や子どもの実態をみていただくよい機会となった。</li> <li>・授業参観を一日中公開するようにして、普段の様子を保護者に参観していただき好評であった。</li> <li>・子どもは、地域で育てるものであるという地域の方々の支援をいただくことができた。</li> </ul>
高松市立 栗林小学校	<p><b>授業時間の確保をめざし、各種行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の運動会と地域の運動会を統合し、年2回あった運動会を春の1回とした。</li> <li>・ジャズ演奏会や和楽器演奏会などの行事を、土曜開放の中に組み込み、PTA行事として行うようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の運動会と統合することにより、競技種目も削減し、全体練習の時間も、朝の会等の時間を利用するので、授業時間をカットすることなく行える。</li> <li>・2学期に連続した課題が設定でき、ゆとりをもって学習が行える。</li> <li>・授業時間の確保に結びついている。</li> </ul>
高松市立 川岡小学校	<p><b>学校行事は、教育目標を具現化することのできる場と考え、教科・教科外との関連を図るとともに、体験的な活動を組織して、めざす児童像にせまる。</b></p> <p>例：自分の良さを発揮し、主体的に考え、判断し行動できる子どもを育てるという視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース選択や生活リズム選択制の修学旅行</li> <li>・児童会の運動会種目の参加選択制</li> <li>・各行事におけるボランティアスタッフの募集と活動</li> <li>・ペア活動による校外学習(春)</li> <li>・教科の必要性に応じ、学年毎に活動しやすい日を決めて校外学習をする(秋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時数を減らすという考えではなく、児童にとってメリハリのある楽しい学校作りという視点から児童の発想を取り入れ、自己決定する、挑戦するという体験を積み重ねてきた。</li> <li>・主体的に考えたり判断したりする力、また、小さい子や地域の人のためにできることをする力がついてきた。</li> <li>・児童活動と学校行事の区別がわかりにくくなっている。</li> <li>・児童を主体にするためには、時間を十分に保障しなければならないが、学年によって時間差がある。</li> </ul>
高松市立 鬼無小学校	<p><b>教育改革が推し進められる状況下、全職員の共通理解のもと、今後のよりよい学校づくりに有機的に機能するように改善すること問題点について話し合うが、問題の指摘に終わることなく、問題に対するの対策(改善案)や今後取り入れていくべき計画案を練り上げていく。次年度の取組として決定されたもののうち、より早い実施が望まれるような事項については、可能であれば試行していく。</b></p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の企画委員会で教育評価内容(行事等)に付いての提案</li> <li>・11月の職員会で共通理解</li> <li>・12月・1月 職員の評価内容について集計と検討会</li> <li>・2月の職員会で次年度の計画について提案と共通理解</li> </ul> <p>&lt;評価内容&gt; A, B, Cの3段階で評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事は教育的意義のあるものが選択されていたか。</li> <li>・学校行事ごとに組織と担当者の位置づけが明確だったか。</li> <li>・価値ある行事とするために事前事後の指導がなされたか。</li> <li>・学校行事の実施時間・場所等が適切であったか。</li> <li>・学習参観・学級懇談会の設定は適切であったか。</li> </ul> <p>&lt;その後の経過&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3推進部会で分担して話し合う機会をもった。(現職教育の時間)</li> <li>・特に必要な事項については、改善を図り来年度の計画案を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体での話し合いのなかで、より良い学校行事について共通理解を図りながら、具体的に計画の見直しをすることができた。</li> <li>・行事(PTAバザー)と学習参観を同時に行うことの意義に付いての疑問が教師から出ていた。保護者と話し合い15年度からは、授業日でない土曜日に行事を実施し、振替休業日の削減に努めた。</li> <li>・百周年記念公園除草を15年度から行事とすることにした。また、学年にあった場所の清掃を行うことで、全校生の地域への思いを高めることにした。</li> <li>・大掃除を学期の始めと終わりに位置付けていた。入学準備や教室移転のための大掃除など目的にあわせて時間を移動した。</li> <li>・これまで、学級活動に位置づけていたものを行事とすることで精選を図った。</li> <li>・年間の行事計画を見直すことはできたが、一つ一つの行事の中で、子どもの主体性や活躍の場を重視したより具体的な行事内容について計画していく。</li> <li>・地域の人材の活用を図ってきたが、それだけでなく地域に働きかける・発言する行事の取組を考えていく。</li> <li>・行事等の実施資料管理をパソコン等でやっているが、より効果的な資料管理についても考えていく。</li> </ul>
高松市立 川島小学校	<p><b>学校教育目標を具現化するため、学校行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校では、すでに学校行事を見直して年間計画を立てているため、4月の時点では時数上特に見直すことはなかったが、その内容をよりよいものにするために、児童による生活委員会を創設し、心を育む行事などに児童がさらに主体的に取り組めるように配慮した。また、人権集会などの一時期だけの取り組みに終わらないようにし、年間を通じて恒常的に児童が考え、行動できるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会を中心に児童の主体的な活動がすでに多く実践されており、同じ時間を使っても昨年より質の高い取り組みができていた。</li> <li>・低・中学年の児童が主体的に取り組むための工夫がこれから必要である。</li> </ul>
東かがわ市立 相生小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間の確保をめざし各種行事の見直しを行っている。くすのきフェスティバルを2日間(土・日)行っていたのを本年度は1日にした。また、あじさいロードのボランティア清掃をやめ、終業式の日(年2回)に地区のボランティア清掃を中学生と一緒に行うことにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAの役員会や学校教育評価(保護者用)などの意見を参考にそれぞれの行事をどう改善していくか毎回検討している中で、保護者や地域の意見を反映できている。</li> <li>・新しく行事を立ち上げる時には今までの行事のどれかを削除していくように心がけたい。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(小学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
東かがわ市立 本町小学校	<p><b>説明責任と結果責任の視点をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数各研究授業を大川地区各小学校・中学校、保護者、学校評議員等に公開し啓発活動に努めた。</li> <li>・現職教育の授業を保護者に公開し、情報提供と啓発活動に努めた。</li> <li>・全保護者対象の教育アンケートを実施し、保護者の意向を生かした学校づくりの資料とした。</li> <li>・PTA総会において全保護者対象にした教育アンケート評価の結果報告の場を設定し、理解と協力を得ると同時に、PTA総会マンネリ化打破の一助とした。</li> </ul> <p><b>開かれたた、学校づくりの視点をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ボランティアを募り積極的に導入し、教育活動の活性化を図った。</li> <li>・町広報誌へ学校諸活動の実践を積極的に資料提供し情報公開を行った。</li> </ul> <p><b>数値目標を導入する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標を導入して、学校行事の指導に配慮した。</li> </ul> <p><b>PTA行事の効率化の視点をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA運営年間行事計画の作成による見通しのある運営を図った。</li> <li>・PTA会費を長子のみ徴収から全児童を対象とし、近隣諸学校とのバランスのあるPTA会費の設定をすると同時に、適切な運営費の確保を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開、現職教育公開は、画期的であった。習熟度別授業等に対する保護者の不安の声も霧散した。教育アンケートの実施と結果公表も極めて効果的であり、実態把握だけでなく、保護者からも納得の声が聞こえた。</li> <li>・今後も継続し、多角的に運営するなどより充実してきたい。</li> <li>・学校ボランティアの活躍は、欠かせない領域になるほど充実してきた。</li> <li>・PTA会費を全児童対象にしたことで、減少していた会費が潤い運営が容易になった。</li> <li>・本年度は、研修活動を充実したい。</li> </ul>
東かがわ市立 丹生小学校	<p><b>実施目的や内容の似通ったものを精選する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1年生を迎える会」と「丹生っ子仲間集会」が別々に開催されていたが、それを統合した。</li> <li>・「地区懇談会」に「救急法の講習会」を抱き合わせることで受講者の増加を図り、夏季休業日中のプール開放（PTA主催）に備えた。</li> </ul> <p><b>既習の学習内容を生かす活動内容に変更する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「リーダーキャンプ（6年・PTA等主催）の食づくりを見直しした。児童の既習内容（家庭科）を生かしながら創意工夫ができるようなものや簡易なものに変更し、他の活動の充実を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一視点で年間行事を考察し内容を整理・精選したので、授業時間の確保や児童・教員め多忙感の解消ができた。</li> <li>・より多くの参加者を得ることができ、プール開放に備えることができた。</li> <li>・児童の主体性を生かすために、内容の精選を図り、PTAの担当者との打ち合わせ時間の効率化も図った。</li> </ul>
さぬき市立 富田小学校	<p><b>授業時数の確保と内容の充実をめざし各種行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の学校評価の時間で職員間で十分に話し合い、改善できるもの、継続するもの、廃止するもの、新規に実施するものを検討する。</li> <li>・完全週五日制になり、授業時数を確保するため、従来の遠足を学習内容との関わりを重視した形にするため、全校統一日による遠足を廃止し、学年毎に学習内容との関わりで行うようにした。（校外学習）したがって、春の遠足は廃止した。</li> <li>・運動会や家族参観等の休日に行う行事はすべて土曜日に実施するようにした。（運動会、学習参観）</li> <li>・学習発表会を全校一斉の統一日でなく、各学年の総合的な学習の時間の学習内容に応じて時期を決定していく。</li> <li>・授業時数を確保するため、家庭訪問を従来の4日間から3日間に短縮する。</li> <li>・学期末に児童が学習のまとめを行う時間を確保するため、教師と期末懇談会の資料を充実させるため、各学期末に2日間行っている期末懇談会を1日短縮させることにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で日程から内容まで計画して行うことによって授業計画とうまくかみ合せてでき授業内容を充実させることにつながった。</li> <li>・準備は金曜日の午後から行うことができた。しかし、土曜日に休めない保護者にとっては、休日というメリットが少ない。</li> <li>・学習の進度に合わせて実施できるので授業を無理なくすすめることができ、ひいては授業時数の確保につながった。しかし、全校生で取り組むという盛り上がりには欠ける面がある。</li> </ul>
さぬき市立 中央小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足を取り止め、学習に生かせるように校外学習としている。また、その時間は内容にあった教科学習の時間としている。</li> <li>・各学期の始業式、入学式当日は給食を実施して授業を行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即、学習の補充、発展として使える。他に教科としての時間確保にも使える。</li> <li>・授業時間の確保になるとともに、子ども達に学習の大切さを分らせるよい機会となっている。</li> </ul>
さぬき市立 鴨部小学校	<p><b>○学校行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の精選を行い、大きな行事の中に取り込んだり、全校で取り組む必要のないものは、学年の活動の中で取り組むようにする。</li> <li>・全校行事 学年行事（ワラ加工）（総合的な学習3年）</li> <li>・遠足で1年生を迎える会を行う。</li> </ul> <p><b>PTA行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子スポーツ大会と給食試食会を同日開催にする。</li> <li>・クローバー集会（人権集会）の公開と教育講演会を同日開催とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間の確保ができた。</li> <li>・全校行事を学年に移すことによって、学年の総合的な学習が充実し、学年全員が十分に活動の体験できるようになった。</li> </ul>
さぬき市立 長尾小学校	<p><b>これまでの伝統的行事を見直し重点化して実践する。そして、学校生活の潤いと調和を考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの行事をドッキングする。</li> <li>・児童の意見を取り入れて内容を見直す。</li> <li>・運動会などの予行を廃止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事のねらいについても検討し、総合、教科で実施するようにした。</li> <li>・行事の精選は必要であるが、学校課題解決に必要なものは、行事内容を考慮し、必要に応じて実施する必要がある。</li> <li>・遠足と修学旅行を別々に行っていたので、6年生の授業時数の確保のためにも実施日を揃えて実施する。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(小学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
三木町立 平井小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従前より実施していた「春と秋の遠足」を、『校外学習』とし、該当学年の学習が現地の体験や見学により生きる場として設定した。</li> <li>・プール開きでは、全校生により実施することから、2グループに分け、短時間で効率のよい行事とした。</li> <li>・『運動会』における、予行演習をなくし、学年が必要に応じた時間に、事前発表会を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問・レク型から、体験・学習型に変更し、成果をあげている。同日でないため、給食場の対応が煩雑となっている。</li> <li>・緊張感と新鮮感のある学年発表ができた。児童の係り分担では、予行がないため、戸惑いがあった。</li> </ul>
塩江町立 上西小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内3校(安原小・塩江小・上西小)ともに小規模校ゆえに、児童数・教職員数ともに極めて少ない。そこで、3校合同の行事を組み、協力し合いながら実施している。</li> <li>＊修学旅行、遠足、集団宿泊学習、運動会、中学校体験入学等</li> <li>・フリー参観日を3日間設定するとともに、その中に行事を組み込み、より多くの保護者に参観してもらう。普段見てもらえない行事も見ていただくことにより、学校への理解を深めてもらう。</li> <li>＊駐在さんに指導をしてもらいながらの不審者対応の避難訓練</li> <li>＊栄養士を招いて、全校生の保護者対象に行う給食試食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独校では、深めにくい学び合いや社会性等が育ってきている。</li> <li>・同じ中学校に進学する児童同士が早くから、顔なじみになれ、進学後も打ち解けやすい。</li> <li>・教師自身も行事担当校を分担し合うことにより、費やす労力の軽減化が図れるとともに、交流のなかで新たな発想が生まれてくる。</li> <li>・児童自身の事前交流の場を3回程度もったが、日程調整・児童の移動等が課題である。</li> <li>・3日間での参観者の延べ人数は、全世帯数の2倍以上もあり、仕事を待つ保護者も参観しやすいと大変好評であった。</li> <li>・行事を重ねることにより、参観回数の負担軽減化を図った。</li> </ul>
丸亀市立 城北小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>二学期制の導入に伴い、学校行事を見直す。</b></li> <li>・二学期制の導入に伴い、6月に運動会を実施する。</li> <li>・5年生の手島自然体験学習も5月に実施していたが、7月の夏休み前に実施する。また、PTA個人懇談会を前期に2回、後期に1回実施する。前期2回のうち1回は、夏休み中に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二学期制になることにより、7月にゆとりができたので、手島自然体験学習を夏休み前に実施することができる。</li> <li>・運動会を前期に実施することにより、前期のまとめの9月頃が学習に集中できる。</li> </ul>
丸亀市立 郡家小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の遠足を総合的な学習における校外体験学習に整理・統合する。</li> <li>・親子ふれあい授業参観と餅つき大会を整理・統合する。</li> <li>・なかよし集会和「いのち発見学習発表会」を整理・統合する。</li> <li>・授業参観の日時に幅をもたせる。</li> <li>・家庭訪問を放課後に実施し、授業時数の確保を図る。</li> <li>・個別懇談会を夏季休業中に実施する。</li> <li>・行政関係各課、その他団体からの作品募集については、教育課程に準ずるものを重点に精選して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より、見直しを図り、行事としての遠足を削減した。総合的な学習の課題づくりの場とする。</li> <li>・二つの行事を統合することにより、1日で充実した機会となった。</li> <li>・発表会的な行事を一つに統合し、多忙感の解消を図る。</li> <li>・ゆとりのある日程で、多くの保護者に本校教育への理解を深めてもらう。</li> <li>・授業時数の確保を図り、2学期制による保護者の不安を解消する。</li> <li>・過剰な作品募集への応募により教育課程が損なわれないようにする。</li> </ul>
丸亀市立 垂水小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>二学期制の導入に伴い、家庭訪問や期末懇談、遠足等の学校行事を見直した。</b></li> <li>・家庭訪問は1年生のみ全家庭実施とし、他の学年は希望家庭のみ訪問することとした。2年から6年生までは、5時間目まで授業を行うことにより、授業時間数の確保を図った。</li> <li>・授業時間数の確保と学習内容の改善を図るために、春の遠足行事は統一日を決めて一斉に行わない。各学年で総合的な学習の時間や生活科の時間として学習にふさわしい内容を考えて実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間数の確保が行われた。各クラス半数ぐらいの家庭が希望したが、夏休み前に懇談会をもちたり、必要に応じて個人的に連絡をしたりして家庭との連携を図っていきたい。</li> <li>・6年生は郷土資料館で社会科の歴史学習を行った。実際に目に触れ、説明を聞き、効果的な学習とすることができた。</li> <li>・統一日としないので担任以外の教員の配置ができにくい。保護者のボランティアを頼み安全管理の補助をしていただいたが、このような処置でいいのかが安全面で不安がある。</li> </ul>
坂出市立 金山小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標(豊かな心、思いやり)を達成することをめざし、各行事の質的な転換を図るため内容を変更する。</li> <li>＊授業参観 参加型の授業参観</li> <li>＊もちつき大会 親子ふれあいもちつき大会へ</li> <li>・勤労生産・奉仕的行事は遠足・集団宿泊的行事に重ね実施する。地域のクリーン作戦と春の遠足を重ねて実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その行事でどんな子どもを育てるのかを工夫することによって、教師の児童への支援の仕方が変わった。</li> <li>・遠足をただ単に楽しい集団活動として捉えるのではなく、地域に役立つ活動を加えることで児童の参加意識が変わった。集団で目標を持って活動することで助け合いができた。</li> </ul>
坂出市立 川津小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14年度から、完全実施となった新学習指導要領下での教育課程において、今まで、音楽会と展覧会を交互に行ってきた学習発表会を、総合学習の時間の発表の機会として「常山フェスティバル」とした。</li> <li>・秋の遠足時に、3年生の図書館学習、2年生の芋掘りを一緒にする。</li> <li>・図書館学習は、図書館に親しみをもたせるために大切な行事である。しかし、お弁当をもっての1日がかりの単独行事であった。これを遠足と組み合わせることにより、6時間が普通の学習として、実施できる。</li> <li>・芋掘りも、芋畑が遠いため、遠足時のバスを利用することにより時間の軽減になると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの、音楽発表や展覧会から一転して総合学習の時間に習った学習内容を発表することにより、総合学習の内容を保護者に説明する絶好の機会となった。</li> <li>・6年生は国際理解教育の内容を情報教育で習ったコンピュータで発表。5年生は英会話学習の成果を劇にして発表。4年生は環境問題の取り組みをを一人一人の学習の成果としてみんなに呼びかけた。3年生は人権劇を創作してそのプロセスで学び、自分のものとしていった。保護者からは、「総合学習の時間は一体何をしているのかと思っていたが今日の発表でよく分かったと好評であった。</li> </ul>
善通寺市立 中央小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を重視した学校行事ではあるが、やめていくという方向ではなく、行事そのものよりも、行事の準備や練習に費やす時間を削減したり日課の調整に工夫をしたりして、子どもたちにとって有意義な行事は、工夫して実施する方向で考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全学校週5日制の実施に伴い学校行事の精選はされてきた。体験活動(自然・勤労・社会参加・遊び・自己充足的)が強調されているため、「奉仕活動」や「遊び」については週時程の中に組み込んでいる。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(小学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
善通寺市立 南部小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの学校行事を計画せず、学期ごとにメインの行事（例えば、本校であれば一学期「大麻山ハイキング」、二学期「運動会」「学習発表会」、三学期「マラソン大会」）を置き、全児童・全職員がその行事に全力を注ぎつつ、学校経営の充実が図られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活にメリハリができ、メインの行事に向けて全校が一つになって力を合わせて盛り上がるができる。</li> </ul>
善通寺市立 与北小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問の時間を行事に位置づけず、放課後の時間を利用し行う。また、年度に1回という形式的なものでなく日常の児童の様子を話し合うために複数回行う。</li> <li>教科や総合的な学習の時間と関連させて従来からの遠足を廃止し、必要な体験学習を計画し校外学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と何度も話ができて信頼関係が構築できた。</li> <li>共働きの家庭が多く、放課後と言っても勤務時間終了後の家庭訪問も多くあり、退庁時間が遅くなるがあった。</li> <li>従来の春と秋の遠足のみでなく、必要な時期に必要な活動を組むことができ学習に有効に活用することができた。</li> </ul>
綾上町立 西分南小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の伝統行事としてずっと続いている地域とのふれあい活動が多くあるが、それらを線をつなぎ、地域学習として一つの単元をつくり総合学習として取り組むことにした。年間15時間程度の行事削減になった。</li> <li>学校行事の時間だけで済まない、練習を必要とする行事（謝恩発表会・卒業式など）の練習時間の取り方を工夫した。朝の集いの時間、業間の時間、放課後などを有効に使い、指導計画を立てて取り組み、授業時間に食い込むことをできるだけ避けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元として組むことで、地域の人の学校に対する思いなどを子どもたちが感じ取ることができるような気がしている。</li> <li>14年度の卒業式の練習は、朝の集いの時間だけで練習ができ、好評だった。</li> <li>指導計画を細かく立てることで、無駄な時間がなくなったような気がする。</li> </ul>
綾南町立 昭和小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生の屋島集団宿泊学習を止め、秋の校外学習で広島原爆資料館へ行き、国語、社会の学習と関連させた平和学習を行った。</li> <li>運動会・卒業式の全校練習は、朝の活動の時間30分を利用して行った。</li> <li>地域に開かれた学校として、平日に行っていた授業参観や家庭教育学級を保護者が参加しやすい土曜日に実施する予定にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容と関連した見学だったので、有意義な校外学習になった。</li> <li>授業時数の確保になった。</li> </ul>
綾歌町立 富熊小学校	<p><b>週5日制に対する授業時数を確保する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>始業式、終業式、入学式、卒業式に給食を用意して午後の時間を有効に使う。年間7回の給食を増やすことになる。10時間程度の授業確保が考えられる。</li> <li>家庭訪問を授業カットしない形で考える。15時15分から開始し、4日間取る。</li> <li>修学旅行中の春の遠足をやめて、5月の児童会行事、1年生を迎える会にして名所を巡り町内理解の取り組みをする。</li> <li>総合的な学習の時間発表会、人権学習発表会を特別な日を取らないで、学校開放日に学年ごとに発表することで効率化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度の開始日が1日早く開始し、子どもたちには疲れが残った感じがする。</li> <li>家庭訪問はこの形で、十分にこなせる感じであった。</li> <li>地区の名所を巡っての活動計画は、地元の関係者に好意的に受け入れてくれた。</li> <li>発表会のための練習日が、カウントされない時間で使われていたのが解消される。</li> </ul>
綾歌町立 栗熊小学校	<p><b>学校行事の準備や練習時間を、朝の活動時間などの教育課程外の時間に行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業式、運動会等の練習や準備。</li> <li>家庭訪問、個人懇談日も朝の活動タイムを活用し、午前中5時間授業にする。</li> <li>始業式、終業式の日も給食を実施し、午後からの時間を有効に使えるようにしている。</li> <li>運動会、学習発表会、校外学習など、長期的な指導や早期の計画が必要なものは、年度当初の職員会で全教職員で大まかな方向性について協議して取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の活動の時間、40分間（体力づくり、全校集会、ドリルタイム、読書タイム、朝の会等）を使うと、まとまった活動ができる。</li> <li>早めの計画性のある活動ができ、教員の多忙感がある程度緩和される。また、子どもの力も行事の練習を通してついてくる。</li> </ul>
多度津町立 四箇小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生の修学旅行の日に1～5年生の校外学習（春の遠足）を重ねて実施する。また、1～5年生は、見学地の選択や体験活動を生活科や社会科、総合的な学習の時間などと関連を図り実施する。</li> <li>自転車練習及び検定（3、6年）の日数を削減した。（6回 4回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容と関連させることで授業時数の確保につながっている。</li> <li>昼休み等の確保にもつながり児童のゆとりの時間が確保できた。</li> </ul>
多度津町立 白方小学校	<p><b>各種行事のねらいを明確にし、授業時数の確保を図ったりすることで、見直しや精選を図る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導年間計画に指導目標を明記したり、学習指導の徹底を図る。</li> <li>日常活動のねらいをはっきりさせて行事・活動等との関連や統合を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各行事や活動の後、必ず評価して、学期末や年度末において次年度に改善継続するもの、廃止するもの、新規に実施するものを検討しておく。</li> <li>土・日の授業参観や学校行事での半日行事では、振替日の授業時間を必ず午前中にいれて授業時間数の確保に努めている。</li> </ul>
観音寺市立 観音寺南小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科と総合的な学習とを関連させて、校外学習や体験学習・遠足等を実施する。</li> <li>例年4月末に実施していた家庭訪問を夏季休業中に実施した。（平成14年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の関連を図ることで中身の充実とともに、授業時数の確保に結びついている。</li> <li>授業時数の確保にはなったが、年度始めに保護者と担任との意思の疎通を図ることに重きをおき、平成15年度は4月に実施した。</li> <li>地区別児童会（児童と保護者・担当教師による地区での生活について考える会、年間4回実施）の2回目以降の実施の見直しを図る。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(小学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
観音寺市立 豊田小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳大会やなわとび大会などは、学年ごとに行い、時間のロスが少なくなるようにしている。</li> <li>・人権集会は、昨年時間がかかりすぎたことを反省し、短くつめるように計画を練り直した。</li> <li>・春の遠足は、1年生を迎える会と抱き合わせたり、1校時は授業をして出かけるなどしている。</li> <li>・PTA総会は5校時後に行い、授業の確保を前提としている。</li> <li>・運動会の「ラジオ体操」は、「朝の活動」で練習している。</li> <li>・卒業式の練習は、「朝の活動」の時間に位置づけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しの授業時数の獲得が、年間では大きなものになっている。</li> <li>・これ以上スリム化させられないところまでできているが、行事の中身の検討も加えていきたい。</li> </ul>
高瀬町立 勝間小学校	<p><b>教科の授業時数の確保とともに「行事が子どもを育てる」ことをめざし、各種行事を総合的な学習の時間の年間計画に位置づけ、実施した。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に対しての計画・立案また、事前学習を通して子どもたちの主体性を育成するとともに各種行事の取組み、発表をより充実したものにする。</li> <li>人権集会での人権劇の発表など、人権に関する全校的な取組み</li> <li>地区文化祭での発表（学習発表会）に向けて</li> <li>地区体育祭での発表（体育発表会）に向けて</li> <li>思い出に残る修学旅行にするために（6年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の精選を図ってきたが、限界があり、教科の時間に食い込みがちだったが、「総合の時間」に位置づけることにより、教科の時間が確保できた。</li> <li>・行事や活動に時間をかけて計画的に取組みことのできることで、充実した活動が推進できている。また、教師の負担軽減にもつながっている。</li> </ul>
三野町立 吉津小学校	<p><b>行事毎に、反省や課題などについて職員から意見を求める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の実践の反省を基に、年度当初、各行事に対し、いつ、何時観を割り当てるかを検討した。この検討は、年間の授業時数確保の観点から、1年間の指導教科等を教育課程配当表に当てはめることによって行事可能時間を算出するという方法によった。</li> <li>・各主任に対しては、限られた時間での実施計画の作成を指示した。</li> <li>*15年度の実践について（予定）</li> <li>校内の行事を外部に公開することを計画している。そこで、関係機関や関係団体の年間予定を事前に調査することで、保護者等が参加しやすい日取りを設定することに努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間で実施することにより、引き締まった教育活動が実施できた。</li> <li>・各行事の教育的な価値を見直すよい機会になった。</li> <li>・予定通りに教育課程を実施しやすくなった。</li> </ul>
大野原町立 紀伊小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会主催の「1年生を迎える会」と遠足を兼ねた春季遠足を実施した。</li> <li>・地区別児童会を学年始め1回のみ1校時とり、その他各学期2回行う児童会は、15分の業間を活用した。また、毎月の誕生集也会も業間を活用して実施した。</li> <li><b>地域の教育力を生かした行事を実施した。</b></li> <li>・夏休みに、保護者や地域指導者を講師とした「親子ふれあい講座」（6講座）を実施した。</li> <li>&lt;講座名&gt;</li> <li>おもしろ科学工作</li> <li>国際理解（アメリカ編）</li> <li>中国料理の作り方を体験しよう</li> <li>和太鼓づくり</li> <li>ケナフを使った紙すき体験</li> <li>竹細工体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の行事が簡略化され、行事の目的が十分達成されないことがあった。</li> <li>・行事の中心的役割を担う6年生にとっては、準備等にかかる時間が短くなったりするなど授業時間は十分確保されたが、教師には多忙感があった。</li> <li>・学校の教師以外の方が指導者となったことで、新鮮味があったり、学校では体験できない内容も多くあったりしたため児童及び保護者には大変好評であった。</li> <li>・地域の指導力を学校教育に生かす上で指導者の発掘の機会ともなった。</li> </ul>
詫間町立 栗島小学校	<p><b>中学校と共同で実施する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区運動会は、小・中・公民館合同で行い、計画運営は、主に小・中が毎年交代で行っている。</li> <li>・歓送迎会も、小1中が毎年交代で計画・運営をしている。</li> <li>・毎年行ってきた「学習発表会」だが、児童が3名、しかも島の児童がいないことから、今年中学校の「菊花祭」に小学校の部を入れる予定である。</li> <li><b>活動を有機的に関連させる。</b></li> <li>・総合学習の時間（環境学習）」に、養殖に使ったパイのリサイクルとして、パイの形を生かして動物やプランターを作った。それを、老人ホームの訪問に持参したり、町の文化祭や環境フォーラムに出品したりした。</li> <li>・「総合的な学習の時間」に学習したことを、運動会の身体表現活動（栗島の海）に取り入れたり、学習発表会時に地域の方に発表し、評価や補足指導等をいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の職員数の減少や島の保雄者がいなくなったことから、小学校単独での運営は難しい。今後の課題である。</li> <li>・児童数が少ないため、一人でも何役もこなし、作品も何点も出品しなければならぬ。全体を見越した計画を立て活動を関連付けることで、児童が課題意識を持って取り組めた。また、授業時数の確保や活動の効率化が図れた。</li> </ul>
仁尾町立 曾保小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を計画するときには、その目的を再確認して実施し、目的や成果がはっきりしないものは見直しをする。朝の活動の内容（8：10～8：25）</li> <li>・一日学校公開日を毎月実施した。</li> <li>・主な行事を実施したときは、その直後に反省や引き継ぎ事項を集約した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に軽重をつけて取り組むことができた。</li> <li>・保護者の都合のいい時間帯に参加できているが、参加者数は多くないので、検討が必要である。</li> <li>・記憶の新しい内なので、細かな事項も出やすかった。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(中学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
高松市立 鶴尾中学校	<p><b>人権学習と結びつけた学校行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会を仲間づくりと位置づけ内容も考える。</li> <li>・修学旅行で行う平和学習を全校で取組み、代表として3年生が長崎で平和学習をおこなう等、日頃の学習の延長まとめとする。</li> <li>・文化祭を人権をメインに日頃の学習の発表の場として位置づけ、また、仲間づくりを一層進める。</li> <li>・集団宿泊学習では、仲間の集いを中心に思いを語り合い連帯する場とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日におこなうことにより、地域、保護者に理解を深めてもらえた。</li> <li>・1、2年生に平和を考える契機となった。</li> <li>・地域、保護者、卒業生も応援してくれる活動となっている。</li> </ul> <p>仲間づくりの大きな一歩となる機会である。</p>
高松市立 屋島中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に年間の主要行事(修学旅行、五色台集団宿泊学習)が集中してしまったため、1学期中間テストを取りやめることになった。</li> <li>・3年生の学年末テストを従来の1月から2月末の1、2年の学年末テストにあわせて実施することにした。実施教科も、9教科から5教科にし、進路に対する意識を深めるものにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の行事の変更であるため成果や課題が現在では見えていない。学習習慣が身に付くかどうかに対する不安感はある。</li> <li>・私立高校の願書受付が早まったことを受けて、従来の1月初旬ではその事務に対応することができなくなり本来の形に変更した。</li> </ul>
高松市立 一宮中学校	<p><b>授業時数の確保をめざし各種行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会の演技の練習を、教科体育の授業時数確保のため20時間を集中的に計画的に確保する。</li> </ul> <p><b>開かれた学校をめざす。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクール(11月予定)とPTA行事のチャリティバザー、バザーを土曜日に実施し、地域に開かれた学校づくりをめざして、地域に公開する機会を多くするようにしたいと検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育とそれ以外の授業時数確保のために。</li> <li>・開かれた学校をめざして、PTAや地域の活動と学校の総合的な学習や行事を共催できるように工夫する。</li> </ul>
高松市立 香東中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年実施している学校評価において、学校行事見直しについての意見を聞き、企画委員会で検討をしている。特に、総合的な学習の時間との関連で見直しを進めている行事もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去にとらわれず、教育課程全体の中で行事そのもの持つ意義を十分見極めることを重視して、今後も見直しを進めていきたい。</li> </ul>
高松市立 太田中学校	<p><b>新教育課程に対応できる週時程を全教職員で話し合い、工夫しながら実施した。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の読書を、月～金曜日まで毎日8:10～8:20まで実施する。教師も読書に専念する。読書の4原則を設け、心の教育を図る。</li> <li>・月曜日の全校朝礼を朝読書・朝の会終了後8:35からとすることで、担任が先頭に立ち体育館に入場できるようにした。なお、1校時は9:05からとし、午前中3時間、午後2時間とした。</li> <li>・月曜日は、ノー部活動デーとし、一斉下校指導を全職員で行う。</li> <li>・本年度より、木曜日の5校時は全校一斉の総合的な学習の時間とし、月に一度は、基礎・基本の補充にも使えるようにした。総合的な学習の時間は、他の活動などで時間は補充できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の安定が得られるだけでなく、本を読んでいなかった生徒が本が読めるようになっていく。</li> <li>・本のジャンルも、お互いの本を見て広がっている。</li> <li>・心が落ち着いたところで集会を行うため、大変静かな集会ができるようになった。</li> <li>・担任は、休み明けの生徒の心身の変化をキャッチできる。</li> <li>・学校生活にメリハリがついてきた。</li> </ul>
東かがわ市立 白鳥中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間数削減により、組立体操・ダンス習得のための時間数確保が困難となったので体育大会の演技を再検討し、生徒会種目の充実を図った。</li> <li>・一斉に実施する家庭訪問を保護者の希望制とし、その趣旨をPTA総会等で説明し、学級懇談会や個人懇談(必要に応じて)での相談の充実を図り、家庭との実質的連携を強化した。</li> <li>・よく似た行事の音楽集会(6月)と合唱コンクール(11月)を統合して日曜日に実施し、保護者(家庭)や地域の人々の参加をやすくした。</li> <li>・学校教育の公開を図るために授業参観を含む学校開放を予定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動を充実させ、生徒の連帯感や所属感を高めることができた。</li> <li>・保護者と生徒が協力して行う種目を設定したことで保護者の参加が倍加した。</li> <li>・保護者に趣旨を理解してもらうとともに、必要に応じて学級担任等との懇談ができるようになった。</li> <li>・行事の精選につながるとともに地域に開かれた学校づくりの行事とすることができた。</li> </ul>
東かがわ市立 大川中学校	<p>文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジタイム(総合的な学習の時間)等の発表の場として、保護者だけでなく地域の方にも参観してもらう。</li> </ul> <p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会にかかる時間の軽減を図るとともに生徒たち主体的に取り組ませる場を確保する。</li> </ul> <p>ウォームアップレッスン(入学説明会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生に中学校で自ら選択した教科を体験してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と関連することで、授業時間の確保となっている。</li> <li>・保護者や地域の方に子どもの様子や学校の教育活動を見ていただける。</li> <li>・小学校での事前指導に役立っている。</li> <li>・生徒理解の一助となっている。</li> <li>・入学前の不安解消と意欲づけが図れている。</li> </ul>
さぬき市立 津田中学校	<p><b>授業時数を確保するための行事を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問時に学校に残っている教員で授業の実施</li> <li>・中間テストを1日、期末テストを2日に短縮し午後の授業を実施</li> <li>・修学旅行・集団宿泊学習内での総合的な学習の時間の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業・行事等が充実するようになったが、職員・生徒の「ゆとりがなくなった」という声もある。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(中学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
さぬき市立 志度中学校	<p><b>試行的に前・後期制による教育課程を実践する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の定期テスト回数の削減(4回に)、始業式、終業式の回数の削減(2回づつに)、懇談会の回数の削減(2回に)</li> </ul> <p><b>準備・練習時間の短縮化を図る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体練習の時間を削減し、学年と学級の時間にく体育的、学芸的、儀式的行事)</li> <li>・委員会活動の活性化(自主的生徒会活動)</li> <li>・古い慣例の打破(行事計画の見直しを委員会で)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数の確保につながり、生徒もゆとりを持って生活をする事ができつつある。</li> <li>・他校との関連行事で調整が必要である。</li> <li>・時間を有効につかうという気持ちが育ちつつある。</li> <li>・生徒の自治能力と、愛着心が高まった。</li> </ul>
さぬき市立 天王中学校	<p><b>学校評価制度を活用する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての行事(学校行事、生徒会行事、PTA行事等)について、学校評議員、保護者、教職員による評価を実施している。4段階(大変満足、やや満足、改善の余地あり、改善すべき)で評価し、改善の意見がある場合は、その多少にかかわらず、再検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者等の意見により、これまでと違った視点から、行事を捉え直すことができ、見直すことができた。</li> </ul>
三木町立 神山中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方と共に実施する行事が多く、削減することは難しい。しかし、今年度はより多くの地域の方に参加していただけるように工夫する予定である。卒業式は、卒業生の保護者だけでなく、地域の方にも案内をして、午前中卒業式、午後卒業生を送る会を計画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域には老人が多く、学校に関心を持ってもらうための工夫が必要である。</li> </ul>
三木町立 小囊中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中併設校のため、小中の連携を十分に生かす学校行事等を目指し、入学式、卒業式、運動会、全校集会、全校道徳等で取り組んでいる。</li> <li>・開かれた学校を目指し、地域の全戸に参加を呼び掛けることも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に縦のつながりができ、準備片付け等で協力や教え合いができています。</li> <li>・学年の発達に応じた発表等が行われ、内容が充実してきた。</li> </ul>
牟礼町立 牟礼中学校	<p><b>定期テストを見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間テスト(国・社・数・理・英)を1日で実施、期末テストのうち音・美を合わせ50分で実施、1日4時間ずつを2日間で実施する。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt; 従来の中間2日・期末3日実施に比べて、授業時数が16時間確保できる。給食後の下校ができるので、保護者から歓迎されている。</p>
庵治町立 庵治中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭を従来は土曜日に行っていたが、保護者からとったアンケートを参考にして、日曜日に開催する予定である。また、授業時数の確保から地区生徒会(地域の清掃奉仕活動)を夏休みに移行する予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の考望を取り入れて、体育祭を日曜日に開催することにより、参観者の増加が見込まれる。また夏休み中に奉仕活動を行うことで、生徒の主体性の伸長も図れるものと期待している。</li> </ul>
塩江町立 塩江中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとって何が必要なのか。また、どうあるべきなのかを再考した。また、時期や時間帯についても従来の形式にとらわれることなく見直すようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校週5日制元年ということもあり、試行錯誤の連続であった。さらにいい形を見つけていきたい。</li> </ul>
香川町立 香川第一中学校	<p><b>全校朝礼の持ち方の見直しを行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日の1時間目を「学裁」としてロングの生徒集会を設定することで、指導内容の充実及び定着を図る。 【内容】...校長の講話、生徒会の活動報告、生徒指導、人権・同和教育、保健安全教育 その他</li> </ul> <p><b>運動会を秋から春に移動させる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業数確保等の視点から、春に移動させ、内容も競技中心として、練習時間の削減を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会が確実に確保でき、生徒の登校状態の確認が確かになった。</li> <li>・生徒会の活動の場が定期的に設定されたことで、活性化にもつながっている。</li> <li>・落ち着いた聞く雰囲気ができつつある。また多くの教師に出番があることで、教師にとってもよい刺激になる。</li> </ul>
丸亀市立 広島中学校	<p><b>学校2学期制の実施に伴い、学校行事等を見直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校2学期制の実施に伴い、年間を通しての学校行事の精選・検討を行うとともに、地域の実態に適応した学校行事を行う。その際、保護者や地域との連携を深める学校行事については、十分協議の上、実施時期を検討する。</li> <li>・学校2学期制実施において、授業時数の確保を図るとともに、基礎・基本の定着を目指した授業研究・評価活動の実践を目指す。テストについては、単元ごとに行うなど、生徒の実態に応じて、基礎・基本が定着するよう工夫して実施する。</li> </ul>	
丸亀市立 南中学校	<p><b>丸亀市の2学期制との関連について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストの回数を減らす。</li> <li>・始業式、終業式の回数を減らす。</li> <li>・中間テストを1日で実施予定。</li> <li>・期末テストを2日で実施予定。</li> </ul> <p><b>丸亀教育、総合的な学習との関連について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会と丸亀教育との連携を図る。</li> <li>・文化祭と丸亀教育との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの委員に配置する職員を増やすことができ運営しやすくなった。</li> </ul>

各種行事の統廃合を進めた実践(中学校)

学校名	具体的な取組	成果や課題
坂出市立 坂出中学校	<p><b>地域連携をめざした行事改革を行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域との連携を一層推進し、開かれた学校づくりを推進するために、以下の試みに取り組んだ。</li> <li>・夏休み親子奉仕作業を生徒と地域代表者の地区別集會に変更した。</li> <li>・地域と学校が情報交換する場を組織し、生徒が地域の中でより積極的に活動できるよう支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の地域行事への関心、また地域の中学生への関心が高まった。</li> <li>・学校週5日制における家庭での過ごし方について、考えを深めることができた。</li> <li>・教師が地域に出向くことにより、学校の姿勢を一層地域に伝えることができた。</li> </ul>
坂出市立 瀬居中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな学校行事や総合的な学習による活動の教育評価は、できるだけ早く実施しその結果を職員に提示、次年度への参考になるよう配慮している。また、外部評価として、学校評議員など一部の方々にも行事評価を実施してもらい、次年度への参考資料としている。</li> <li>・学年団行事や各分掌についての教育評価を学期ごとに実施し、改善を図っている。</li> <li>・今後は、行事に参加した地域の方々・学校評議員・保護者などの外部による評価を積極的に取り入れていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事を実施した後の記憶が鮮明な早い時期の教育評価は、効果的である。</li> </ul>
綾歌町立 綾歌中学校	<p><b>授業時数の確保を目指す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間テストを1日で実施した。(H14より)</li> <li>・家庭訪問             <ul style="list-style-type: none"> <li>H14 夏休み中に実施。</li> <li>H15 1・2年生は修学旅行中に実施。</li> <li>3年生は後日希望家庭のみ実施。</li> </ul> </li> <li>・3年生を送る会の廃止(H15.3より)</li> <li>・春の遠足を廃止(H15.4より)</li> <li>(総合的な学習の中で体験学習を実施するため)</li> <li>・修学旅行を2泊3日で実施。(H15.4より)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の家庭学習やテスト期間中のテスト勉強のあり方の指導が必要である。</li> <li>・家庭訪問は1学期の早い時期の方が生徒理解には有効である。</li> <li>・飛行機の利用により2泊3日で目的を達成することができた。</li> </ul>
琴平町立 琴平中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生の3学期(2月)に実施していた「立志式」を、今年度(平成16年度)は「屋島集団宿泊学習」の場で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数の確保の面と学年・学校行事に係る時間のスリム化の面から、大変有効と思われる。</li> <li>・保護者が、「立志式」を参観できない。(VTR等で、後日紹介する場を検討中である)</li> </ul>
高瀬町立 高瀬中学校	<p><b>同時開催が可能な行事を一本化する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放の文化祭や音楽祭と授業参観を1日で計画実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の参加人数も増え、とても好評だった。</li> </ul>